

ART

Museum
and
Theatre
Information
2014.4-6

ミュージアム+シアター最新情報

NEWS

アート・ニュース・トーキョー

TOKYO

東京⇄江戸 今昔ストーリー

優香

A Story of Today and the Past
Actress Yuka

東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air architectural Museum

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

トーキョーワンダーサイト

Tokyo Wonder Site



トーキョー・アート・
ナビゲーション携帯サイト
tokyoartnavi.jp

ART

Museum
and
Theatre
Information
2014.4-6

ミュージアム+シアター最新情報

NEWS

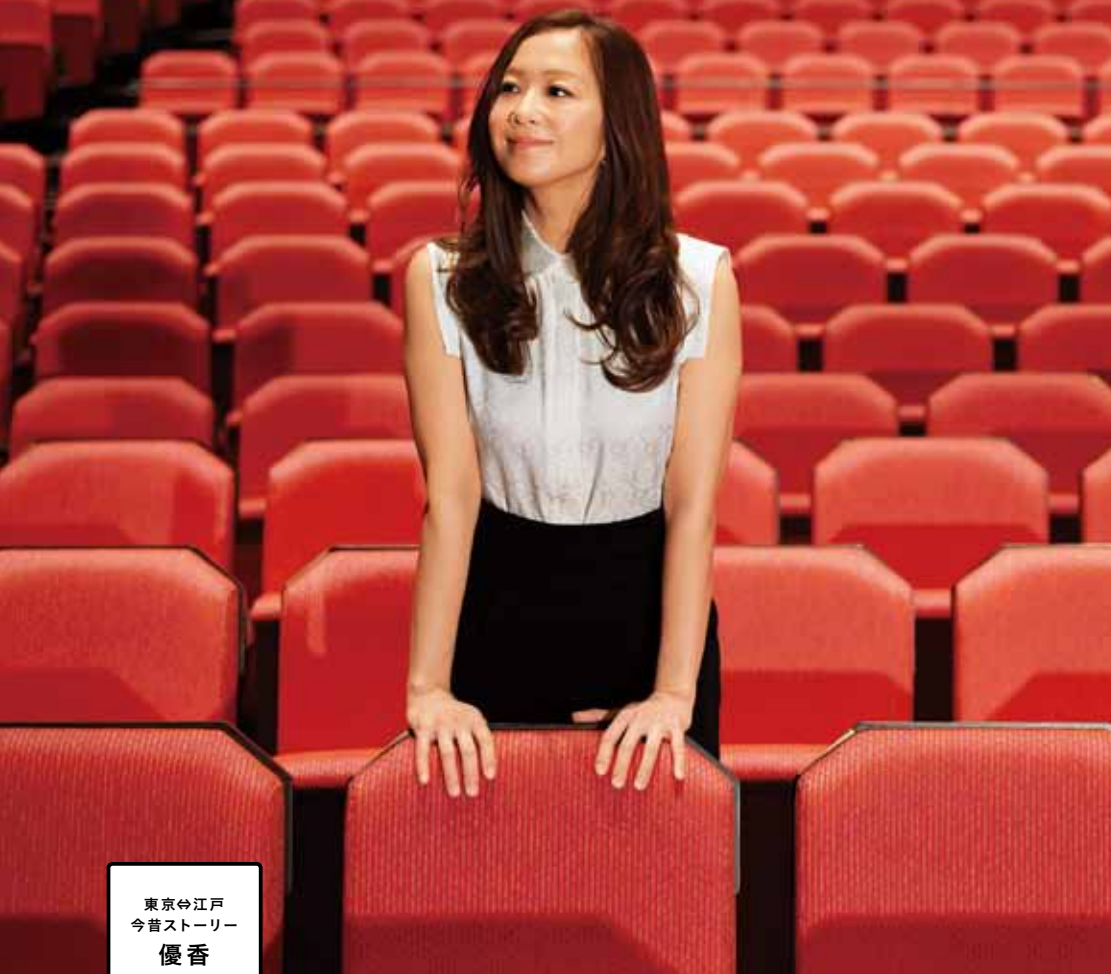
アート・ニュース・トーキョー

TOKYO



東京芸術劇場にて。優香さん
Actress Yuka, at the Tokyo Metropolitan Theatre

「酒と涙とジキルとハイド」が上演される、東京芸術劇場の中ホール「プレイハウス」にて。内壁に施されたレンガは、装飾と良質な音響効果を兼ね備えている



東京台江戸
今昔ストーリー
優香

A Story of Today
and the Past
Actress Yuka

Yuka

バラエティを中心に映画、ドラマ、CMで広く活躍、4月10日からは東京芸術劇場で「酒と涙とジキルとハイド」（三谷幸喜作・演出）のヒロインをつとめる優香さん。年を追うごとに役柄の幅を広げている優香さんですが、舞台出演は今回が初めてとのこと。新たな境地への意気込みとともに、東京の街がもつ魅力などのお話をうかがいました。

Photo : Koji Honda (p.2-3)

俳優が秘めている、 さまざまな人格の引き出し

Facets of personality that actors hold inside them

『酒と涙とジキルとハイド』は、19世紀イギリスの小説『ジキル博士とハイド氏』をモチーフにしたコメディで、片岡愛之助さんと藤井隆さんが2人で1役を演じ、私は1人で2役を演じます。大河ドラマ「新選組!」（2004年、NHK）に出演して以来、三谷幸喜さんが手がけるお芝居や映画、ドラマはすべて観ているほどのファンで、いつかまたお仕事ができたらいいなと思っていました。

確か3年ほど前、三谷さんとお話ししているとき「優香さん、舞台はありますか」と訊かれたのが最初でした。その後も、お会いしたり、メールでやりとりしたりするたびに「いつか舞台をやりたい、絶対に向いていると思うんです」と。それがいつか「舞台の話を進めています」と具体的にいき、今に至ります。

デビュー17年目にして初の舞台出演ということで、さまざまな人から驚かれますが、自分自身が一番驚いています。もともと演劇を観に行くことは好きで「いつかは自分も」という遠いお話としての憧れはありましたが、とうとう初舞台、しかも、1人2役。短い期間での準備や演技のプランなど、課題はたくさんあります。何といっ

ても時間の流れを戻せない点で、舞台はドラマや映画の撮影と大きく違います。たとえ何かあっても、「すみません、もう1回」とは言えない。「頭が真っ白になったらどうしよう」と、お引き受けしたあとも不安でいっぱいでした。けれど考えてみると、私がずっと関わらせていただいているコントの世界も、少し似た面があることに気づきました。

実はコントの収録は、撮り直しをほとんどしないのです。最後にガラガラと壊れて落ちになるような大掛かりなセットがあるような場合ももちろんですが、場が乗ってくればくるほど、その雰囲気壊さないように、キャストもスタッフもこれが1回きりと集中して勝負する。その緊張感が大切でもあります。

ずっと長時間で、たくさんのギャラリーがいて、作り込んでいく……、そういうコントの現場だと考えればよいのかもしれない。そう三谷さんに投げかけてみたところ「まさに、そういうことです。そう考えていただく」と。私の不安を取り除くためにおっしゃってくださった部分も



プレイハウス2Fホワイエにて

あるかと思いますが、そのお答えで、フツと余計な力が抜けたのを覚えています。

共演の片岡愛之助さんは、歌

舞伎の舞台やドラマではどっしり重厚な演技をされていますが、お会いするとフワリ優しい雰囲気です。昔から共演することの多かった藤井隆さんは、ハイテンションのお笑いも、シリアスで繊細な演技も

舞台もコントも、 1回勝負の集中する世界

自由自在。俳優はみなどこかで、ジキルとハイドなのかもしれません。そして三谷さんは、俳優本人も気づかない特徴を細かく観察していて、それを忘れられない印象や魅力として引き出してくださる方。今回の舞台で、私のどんな表情、どんな人格が現れてくるのか、私自身とても楽しみにしています。

東京で生まれ育ち、東京で暮らしながら仕事をしていますが、東京って、本当に街ごとに違う表情をもっていて、今でも新しいところを訪れるたび、新鮮な驚きがあります。ジキルとハイドではありませんが、世界最先端のモノが集中する場所でもあるし、伝統や文化が受け継がれていて、江戸時代にタイムスリップしたような情緒を残す場所でもある。どちらの要素も、大好きです。

今のお気に入りには、まずは押上の東京スカイツリー®。趣味の一つが夜景を観ることなのですが、東京スカイツリー®のライトアップは、間近で見ても離れたところから見て

も、素晴らしくきれいです。日によって、またクリスマスなどの期間によって、色や光り方が変わるところも面白いですね。

それから、浅草。観音裏の古い料亭が並ぶシックなエリアから、賑やかな仲見世まで、いくら歩きまわっても飽きません。浅草は、人同士の心の距離がほかの街よりぐっと近いですね。知らない人から気軽に話しかけられることが多くてドキッとすることもあるけれど、だからといって深くは踏み込んでこない。絶妙な間合いには、いつも感心させられます。

明治神宮や等々力渓谷など、豊かな自然の残るエリアにもよく立ち寄ります。街なかの喧騒から一歩足を踏み入れると、そこは別世界。流れる空気は凜として静かで、ちょっと怖いほどです。そんな場所を、ときには愛犬と一緒に、もくもくと汗ばむまで歩きます。大きな

池袋との不思議な縁

木々に囲まれ、澄んだ空気を吸って、心も身体もしゃんとします。

17歳のとき、普段はほとんど立ち寄りなかった池袋に、友達の買い物につき合っただけでスカウトされたことが、芸能界デビューのきっかけでした。今回初舞台の東京芸術劇場も池袋ということで、不思議なご縁を感じます。これまでも観客としてよく足を運んでいましたが、今日おうかがいしてあらためて、壁や天井にアート作品がさりげなく、そしてたくさんあることを発見しました。素敵な劇場でデビューを飾って、光栄です。



劇場内にはアート作品が点在している。プレイハウスのホワイエを彩るのは、川原竜三郎の《宇宙への響き》コンサートホール前の広場天井、絹谷幸二《天(蒼天の人)》

The theatrical production, “Jekyll & Hyde & Tears & Liquor” is a comedy based on the motif of the 19th century British fiction, the “Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde.” Mr. Ainosuke Kataoka and Mr. Takashi Fujii will both play the same character (two personalities within one person), while I will play a double role.

I remember that it began about three years ago while I was talking with Mr. Koki Mitani and he asked, “Yuka-san, would you be interested in performing in a theatrical production?” Over time it gradually became more definite, such as, “I am in the process of producing a theatrical production,” and has now reached the present situation.

Many people expressed their surprise to learn that this is my first theatrical play in the 17 years following my debut, but I myself am most surprised. Moreover, it is a double role. There are a number of issues to sort out such as preparation within a short time period and a plan of acting. Most of all, the major difference between performing a theatrical play and shooting a TV drama or film is that we cannot rewind the flow of time in the former. However, having considered the world of sketch comedy in which I have been involved, I have noticed that there are some similarities.

In fact, in the work of recording sketch comedies, retakes almost never happen. It requires longer hours, with large

audiences, and with a more elaborate process... I thought this would be the way I should understand it, as though it was a production site of a sketch comedy. When I threw this idea at Mr. Mitani, he said to me,

“Yes, that’s exactly what it is. Please keep that idea.”

Mr. Mitani is a person who observes actors’ characteristics in detail, including the ones that even the actors themselves do not notice, and is able to draw them out from them as an unforgettable impression and charm.

I was born and grew up in Tokyo, and now I work and still live in Tokyo.

When I was 17, I went to Ikebukuro, which was an area I seldom went to, to accompany a friend of mine on a shopping trip, and was subsequently recruited. It opened up my debut in the entertainment industry. As the Tokyo Metropolitan Theatre, where I will perform my first theatrical play, is also located in Ikebukuro, I feel that this must be fate.

優香 Yuka

タレント、俳優。1997年デビュー。主演映画『恋に唄えば♪』で第26回日本アカデミー賞新人俳優賞受賞。近年の主な出演作として、ドラマでは「ハクバノ王子さま 純愛適齢期」（日本テレビ系列）など、映画では『黒執事』、5月公開の『悪夢ちゃん The movie』『WOOD JOB!〜神去なあなあ日常〜』など多数。著書に『オトナ優香』（2013年、宝島社）など。4月10日（木）～30日（水）、東京芸術劇場にて舞台『酒と涙とジキルとハイド』に出演。8日、9日にプレビュー公演（Tel 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296）、5月4日（日）～18日（日）天王洲 銀河劇場（Tel ホリプロチケットセンター 03-3490-4949（両公演とも））。

Art spots recommended by Yuka

優香さんのおすすめアートスポット

出演作ごとに新しい魅力的な一面を見せてくれる優香さんに、東京都内で特にお気に入りの場所を4つ教えていただきました。

We asked Yuka, who shows us her new and attractive characteristics in every production, to tell us four places in Tokyo that she particularly loves.



写真提供：東京芸術劇場

1 東京芸術劇場 Tokyo Metropolitan Theatre

本格的なコンサートや演劇の施設として1990年オープン。4つのホールで毎日多彩な演目が上演されている。2012年9月には1年半の改装を経てリニューアルオープン、舞台機構、雰囲気ともに一新された。

This theatre opened in 1990 as a facility to accommodate full-fledged concert and theatrical plays. Everyday, a variety of programs are performed in its four different halls.



3 東京スカイツリー® TOKYO SKYTREE

2012年竣工・オープンした、高さ634mの電波塔。放送施設のほか、展望施設、商業施設を備える。LEDによるライトアップは江戸の粋・雅をテーマとした基本パターンのほか、七夕、正月などの期間限定も。

This is a broadcasting tower with a height of 634 meters, which was completed and opened in 2012.

Photo: Kazu Suzuki

2 ブックハウス神保町 Book House Jinbocho

絵本観賞が趣味の優香さんは、絵本との出会いを求めて書店めぐりをすることも。特にお気に入りには『アンジュール ある犬の物語』（G. バンサン、1986年、BL出版）とのこと。当店は2005年開店の、アートブック・絵本専門店。住所：千代田区神田神保町2-5 / Tel: 03-3261-5691

Yuka enjoys picture books as a hobby, and sometimes tours bookshops, hoping to encounter new books.



4 浅草 Asakusa

開山は奈良時代にまで遡ると言われる古刹・金龍山浅草寺の門前町。江戸時代はもちろん、戦前までは映画、演劇、演芸、遊技場などの施設が立ち並び、東京随一の繁華街であった。今も下町情緒が色濃く残る街として人気。

Asakusa is a monzenmachi (temple town) for the old temple, Kinryusan Senso-ji, the opening of which is said to go back to the Nara Period (8th century).



写真提供：台東区



《万暦年間北京城内図》 万暦年間
東北大学附属図書館蔵
(4月15日～5月11日展示)

A map of the interior of the Beijing Castle during the Ming Dynasty (1368-1644)
Courtesy of Tohoku University Library
(On exhibit from Apr 15-May 11)

江戸東京博物館 開館20周年記念特別展 大江戸と洛中

～アジアのなかの都市景観～

3月18日(火)～5月11日(日)

20th Anniversary Special Exhibition of the opening of Edo-Tokyo Museum

— Edo and Kyoto: The Townscape in Asia

Mar 18 Tue – May 11 Sun

江戸と京都は、江戸時代を通して、さまざまな情報や物資を受容、発信していた二つの大都市です。武家の都と公家の都、城郭と宮殿、大名の集住、基盤の目の都市づくりなど、さまざまな様相があります。本展は、二つの都市を、アジア、そして世界を意識した視点でみつめ、江戸時代の日本の都市設計を考えます。また、江戸の持つ国際都市としての側面に注目し、江戸の実像に迫ります。

Throughout the Edo Period, Edo and Kyoto were two major cities that accepted and transmitted various information and goods. Edo was the city of the samurai, with numerous residences belonging to daimyo feudal lords as well as a castle, while Kyoto was the city of the court noble, with the Imperial Palace located within its grid-pattern city design.

This exhibition considers Edo-Period city development in Japan, focusing on the two cities, and how it compared with city development in other Asian regions.

入場料：一般 1,300 (1,040) 円、大学生・専門学校生 1,040 (830) 円、小学生・中学生・高校生 65 歳以上 650 (520) 円。() 内は 20 名以上の団体料金。未就学児童は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者 2 名は無料。

会場：東京都江戸東京博物館 1 階展示室

休館：休館：月曜日(ただし4月28日、5月5日・6日(火)は開館)、5月7日(水)

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、読売新聞社

Admission: Adults: ¥1,300 / College and vocational students: ¥1,040 / Elementary school students, Junior high school students, high school students, and seniors (65 and over): ¥650

Closed: Mon(Open on Apr 28, May 5 and 6 Tue), May 7 Wed



日本図 1595 年
明治大学図書館蔵
Map of Japan, 1595
Courtesy of Meiji University Library



紅葉山東照宮御簾 1736 (享保 21) 年以前
津山郷土博物館蔵
A special window blind at Momijiyama Toshogu,
Historical Museum Of Tsuyama Region

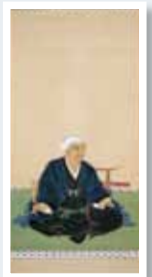
CLOSE UP!

この展覧会に注目!

「**軍師官兵衛**」(5月27日～7月13日)では、戦国時代末期に、織田信長、豊臣秀吉に重用された、天才的軍師・黒田官兵衛に関わる歴史資料を展示します。NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」と連動する展覧会です。

Gunshi Kanbee (tentative title) (May 27-July 13) presents historical documents and items regarding Kanbee Kuroda, a genius general who served important positions under Nobunaga Oda, Hideyoshi Toyotomi during the late civil war period. This exhibition was created to coordinate with NHK's year-long TV program "Gunshi Kanbee".

《黒田如水像》 江戸時代後期 福岡市博物館蔵
Josui Kuroda, Later Edo Period, Fukuoka City Museum



江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



二・二六事件の舞台となった高橋是清邸二階の居間と書斎

The living room and study room on the second floor of the Takahashi residence where the February 26 Incident occurred

書斎で使っていた卓上カレンダー。遭難当日にも書き込みがある
A desktop calendar that Takahashi used in his study room. Some entries made on the day of the incident are confirmed.



高橋是清邸内展示

二・二六事件と高橋是清邸

2月22日(土)~5月11日(日)

Exhibition of Interior in the Residence of Korekiyo Takahashi
The February 26 Incident and the Koreikiyo Takahashi residence
Feb 22, Sat – May 11, Sun

幼少期からペルー鉱山開発まで

5月13日(火)~8月31日(日)

Exhibition of Interior in the Residence of Koreikiyo Takahashi
From Takahashi's early childhood to the time he worked on a
mining development in Peru
May 13 Tue – Aug 31 Sun

1936 (昭和11)年、是清が二・二六事件により亡くなった後、遺族から寄贈を受けた東京市は、高橋是清邸の母屋と玄関を多磨霊園に移築。その後、1993 (平成5)年3月の江戸東京たてもの園の開園にむけて、多磨霊園から移築しました。邸内1階食堂を展示スペースとして、年4回展示替えています。今回の展示では、赤坂にあった高橋是清邸の全貌を紹介するとともに、前半は二・二六事件にまつわる展示、後半では幼少期からペルーに渡る35歳までの生い立ちに関する展示を行います。

After Koreikiyo Takahashi died in 1936 during the February 26 Incident, his family donated his residence to the city of Tokyo. The main building and entrance were initially moved to Tama Cemetery, but were relocated in March 1993 to the newly opened Edo Tokyo Open Air Architectural Museum. In this exhibition, Takahashi's residence, in its entirety, is introduced. In addition, various documents related to the February 26 Incident will be on display during the first half of the exhibition period, while the period of Takahashi's life from his childhood to the age of 35 will be reviewed in the latter half of the exhibition period. Portrait photos of Takahashi as a young man will also be on exhibit.

入場料：一般 400 (320) 円、大学生 320 (250) 円、中学生 (都外)・高校生・65 歳以上 200 (160) 円、小学生以下・中学生 (都内) 無料。() 名は 20 名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者 2 名は無料。

会場：江戸東京たてもの園 展示室

休園：月曜日 (ただし 4 月 28 日、5 月 5 日・6 日 (火)、7 月 21 日は開園)、5 月 7 日 (水)

主催：東京都、江戸東京たてもの園

Admission: Adults: ¥400 / College students: ¥320 / Junior high school students living outside Tokyo, high school students, and seniors (65 and over): ¥200 / Elementary school students and younger, and junior high school students living in Tokyo: Free

Closed: Mon (Open on Apr 28, May 5 and 6 Tue, Jul 21), May 7 Wed



高橋是清 21 歳肖像写真

1875 (明治 8) 年

Takahashi at the age of 21 (1875)



委任状 (ペルー共和国国内にて農業従事に関する事項について)

1889 (明治 22) 年 11 月

An authorization letter about an agricultural engagement in the Republic of Peru (November 1889).

CLOSE UP!

このイベントに注目!

今年もゴールデンウィーク恒例の「たてもの園こどもの日イベント」を 5 月 4 日 (日)、5 日 (月・祝) に開催。「民家のにわどうぶつえん」などユニークなイベントがたくさん! 詳細はウェブサイトをご覧ください。

An annual Golden Week event entitled, "Children's Day Event in the Open Air Architectural Museum" will be held on May 4 (Sun) and May 5 (Mon, holiday). "A zoo in the garden of an old folk house" and various unique events will be featured. Additional details will be provided on the museum's website.

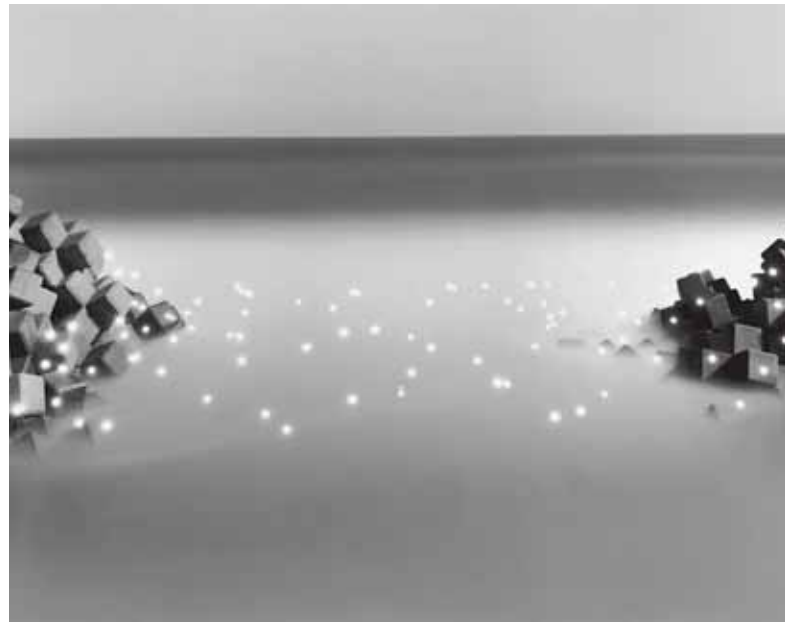
ヤギとふれあう
Play with goats

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



東京都写真美術館



佐藤時啓 シリーズ〈光・呼吸〉より #347 Hattachi 1998年
Tokihiro Sato, from a series of *Photo Respiration*, 1998

佐藤時啓 光一呼吸 そこにいる、そこにはいない

5月13日(火)～7月13日(日)

Sato Tokihiro: Presence or Absence

May 13 Tue – Jul 13 Sun

佐藤時啓は、光・時間・空間・身体などをテーマに、ピンホール・カメラ、カメラ・オブスクラ、長時間露光などによる作品制作を行っています。代表作のひとつ〈光・呼吸〉シリーズは、森や海などカメラの前に広がる風景の中を作家自身が鏡を持って歩き回り、その鏡に反射する光と作家自身の移動の軌跡をフィルムやデジタル・メディアに定着させる試みです。〈ワンダリング・カメラ〉シリーズによる最新作も紹介します。

Tokihiro Sato has created works with long exposure using a pinhole camera and a camera obscura, focusing on light, time, space, and body. One of his representative works, *Photo Respiration* series, portrays such landscapes as forests and seas with reflections of light that trace his movement through the use of a mirror. Sato then describes those images on film and/or digital media. On exhibit are works from his latest pieces taken with *Wandering Camera* series.

入場料：一般 700(560)円、学生600(480)円、
中高生・65歳以上 500(400)円。()内は20
名以上の団体料金及び東京都写真美術館
友の会会員。小学生以下及び障害者手帳を
お持ちの方とその介護者は無料。

会場：東京都写真美術館 2階展示室
休館：月曜日(祝日の場合は翌日)
主催：公益財団法人東京都歴史文化財団
東京都写真美術館、読売新聞社、美術館連
絡協議会

Admission: Adults: ¥700 / College students: ¥600 /
Junior high and high school students, and seniors
(65 and over): ¥500

Closed: Mon (When Mon is a national holiday,
closed on the following day)

平成26年度東京都写真美術館コレクション展 スピリチュアル・ワールド

5月13日(火)～7月13日(日)

Collection Exhibition 2014: Spiritual World

May 13 Tue – Jul 13 Sun

2014年コレクション展のテーマは「スピリチュアル・ワールド」。宗教的な世界観や民間信仰を背景とした作品、生命や宇宙の起源につながるヴィジョンの追求まで、「聖なるもの」の表現を通覧します。

The spiritual world is the theme of Collection Exhibition 2014. this exhibition will trace the expression of “holy” things beyond the day-to-day world.

入場料：一般 500(400)円、学生 400(320)円、中高生・65歳以上 250(200)円。()内
は20名以上の団体料金。東京都写真美術館友の会会員は無料。小学生以下及び障害者手
帳をお持ちの方とその介護者は無料。会場：東京都写真美術館 3階展示室
休館：月曜日(祝日の場合は翌日) 主催：東京都 東京都写真美術館

Admission: Adults: ¥500 / College students: ¥400 / Junior high and high school students, and seniors (65
and over): ¥250 Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)



横尾忠則 《皆は一人的ために一人は皆のために》
1993年 テクナメーション
Tadanori Yokoo, *All for one and one for all*, 1993
Technamation

101年目のロバート・キャパ —誰もがボブに憧れた

3月22日(土)～5月11日(日)

Robert Capa, the 101st Year: They All Adored Bob

Mar 22 Sat – May 11 Sun

戦場を写した写真家として知られるキャパですが、残された作品の中には、同時代を生きる人びとや友人たちへの思いのこめられたカットが数多く存在します。本展は、ユーモアや生きる喜びが表れた作品を中心に構成し、ボブ(キャパの愛称)の等身大の魅力を捉えます。

Robert Capa has been well known as a photographer who portrayed scenes of battlefields, but not all his work were of war scenes. Capa left a number of photos depicting ordinary people and friends, in which his warm thoughts for his subjects shine through. This exhibition examines Capa's real appeal.

入場料：一般 1,100(880)円、学生 900(720)円、中高生・65歳以上 700(560)円。

()内は20名以上の団体料金及び東京都写真美術館友の会会員。小学生以下及び障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。会場：東京都写真美術館 地下1階展示室
休館：月曜日(ただし4月28日、5月5日・6日(火)は開館)、5月7日(水)

主催：朝日新聞社 共催：東京都写真美術館

Admission: Adults: ¥1,100 / College students: ¥900 / Junior high and high school students, and seniors (65
and over): ¥700 Closed: Mon(Open on Apr 28, May 5 and 6 Tue), May 7 Wed



ロバート・キャパ 《ツール・ド・フランス》
1939年 東京富士美術館蔵
Robert Capa, *Tour de France*, 1939
Courtesy of Tokyo Fuji Art Museum Collection
© International Center of Photography / Magnum Photos

CLOSE UP!

この施設に注目!

4階には写真や映像に関する図書約40,000冊と約1,500タイトルの雑誌を収蔵する図書室があります。全国の写真展や写真コンテスト情報や展覧会にあわせて関連図書が無料で閲覧できます。気軽にお立ち寄りください。

On the museum's fourth floor is the library, which houses about 40,000 books and 1,500 titles of magazines on photography and videos.

インターネットで図書室の蔵書検索ができる
<http://tokyophotomuseum-library.opac.jp>



東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo



MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO
東京都現代美術館



逢坂卓郎
《Appearance and Disappearance Marl 2004》
© Takuro Osaka
Takuro Osaka,
《Appearance and Disappearance Marl 2004》
© Takuro Osaka

宇宙×芸術 (仮称)

6月7日(土) ~ 8月31日(日)

[Space × Art] (tentative)
Jun 7 Sat – Aug 31 Sun

21世紀最初の10年が過ぎ、私たちをとりまく「宇宙」は限りなく日常に近づいています。リアルな宇宙とアーティストらによる内的宇宙は、多元的世界としてますます拡張しつつあります。本展では、小惑星探査機「はやぶさ」帰還や2号機打上げに活況を見せる宇宙領域、エンターテインメント領域を含む現代作品や国際宇宙ステーション芸術実験など、日本の先駆的活動を通して、世界をとらえ、考え描写するための新たな可能性を探ります。

The first decade of the twenty-first century has already passed and today we find the “cosmos” that surrounds us becoming infinitely closer to our daily lives. Both the real cosmos and the inner cosmos that is created by artists are expanding into a pluralist world. This exhibition will explore new possibilities of how to grasp, consider and depict the world through Japan’s trail-breaking activities—its increased involvement in space development, as demonstrated by the asteroid explorer, Hayabusa’s successful return to Earth, and the launch of Hayabusa II; its contemporary art, including entertainment field; and the art experiments carried out on the International Space Station.

CLOSE UP!

この展覧会に注目!

常設展示「MOTコレクション: 第2部 クロニクル 1966—| 拡張する眼」(2月15日~5月11日)では、「見ること」を起点に、鑑賞の態度や芸術の概念への問い直しと拡張が起こった1960年代後半の美術状況に焦点をあてます。

Part Two (third floor) presents “Chronicle 1966 Expanded Vision”, which focuses on the late 1960s, when the concepts of art and art viewing were rethought and expanded in scope.

篠原有司男 不詳 [花魁シリーズ] 1966年頃
Ushio Shinohara, *Title Unknown [Oiran series]*, c.1966



入場料: 未定
会場: 東京都現代美術館 企画展示室1階、地下2階、アトリウム
休館: 月曜日(ただし7月21日は開館)、7月22日(火)
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
Admission: To be announced
Closed: Mon (Open on Jul 21), Jul 22 Tue

「驚くべきリアル」展

スペイン、ラテンアメリカの現代アート—MUSACコレクション—

2月15日(土)~5月11日(日)

The Marvelous Real: Contemporary Spanish and Latin American Art from the MUSAC Collection
Feb 15 Sat – May 11 Sun

スペインの90年代以降の作品にフォーカスしたカスティージャ・イ・レオン現代美術館(MUSAC)のコレクションから、「驚くべきリアル」をテーマに27作家(組)の作品を紹介します。

“The Marvelous Real” will showcase works by 27 artists from the collection of the Museo de Arte Contemporáneo de Castilla y León (MUSAC), focusing on Spanish art since the 1990s.

入場料: 一般 1,100 (880) 円、大学生・専門学校生・65歳以上 800 (640) 円、中高生 600 (480) 円 小学生以下無料。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場: 東京都現代美術館 企画展示室1階、ホワイエ

休館: 月曜日(ただし5月5日・6日(火)は開館)、5月7日(水)

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、カスティージャ・イ・レオン現代美術館 (MUSAC)、Acción Cultural Española (AC/E、スペイン文化活動公社)

Admission: Adults: ¥1,100 / College and vocational students and seniors (65 and over): ¥800 / Junior high and high school students: ¥600

Closed: Mon (Open on May 5 and 6 Tue), May 7 Wed



ピラール・アルバラシン 《ミュージカル・ダンシング・スバニッシュ・ドール》2001年 MUSAC 蔵
© Pilar Albarracín, Courtesy: MUSAC
Pilar Albarracín, *Musical Dancing Spanish Doll*, 2001, MUSAC Collection, Copyright: Pilar Albarracín, Courtesy: MUSAC

MOTアニュアル2014 フラグメント

—未完のはじまり

2月15日(土)~5月11日(日)

MOT Annual 2014 Fragments — Incomplete Beginnings

Feb 15 Sat – May 11 Sun

13回目となる「MOTアニュアル」は、身の周りにある素材や見慣れたイメージの「フラグメント」(部分)を用いることにより、われわれの現実認識に新たな「手がかり」をもたらす若手作家・作品を紹介します。

MOT Annual is a group exhibition that introduces younger artists who are in the spotlight today. The 13th exhibition features artists who present new viewpoints from which to perceive reality by using “fragments” of materials and things around us that are familiar.

入場料: 一般 1,000 (800) 円、大学生・65歳以上 800 (640) 円、中高生 500 (400) 円。()内は20名以上の団体料金。小学生以下無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場: 東京都現代美術館 企画展示室3階

休館: 月曜日(ただし5月5日・6日(火)は開館)、5月7日(水)

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

Admission: Adults: ¥1,000 / College students and seniors (65 and over): ¥800 / Junior high and high school students: ¥500

Closed: Mon (Open on May 5 and 6 Tue), May 7 Wed



吉田夏奈 《Face to the Green》2011年
Photo: 早川宏一
Kana Yoshida, *Face to the Green*, 2011
Photo: Koichi Hayakawa



左：《夢見るテレーズ》1938年 メトロポリタン美術館
Thérèse Dreaming, 1938, The Metropolitan Museum of Art
 Jacque and Natasha Gelman Collection, 1998 (1999.363.2). Photo: Malcolim Varon.
 © The Metropolitan Museum of Art. Image source: Art Resource, NY

右：《美しい日々》1944-1946年 ハーシュホーン博物館と彫刻の庭
The Golden Days, 1944-1946, Hirshhorn Museum and Sculpture Garden, Smithsonian Institution
 © Hirshhorn Museum and Sculpture Garden, Smithsonian Institution, Gift of the Joseph H. Hirshhorn Foundation, 1966

バルテュス展

4月19日(土)～6月22日(日)

Balthus: A Retrospective
 Apr 19 Sat - Jun 22 Sun

バルテュス(本名バルタザール・クロソフスキー・ド・ローラ)は、20世紀美術のいずれの流派にも属することなく、ヨーロッパの古典美術を継承しながら、独自の具象絵画の世界を築きました。国内では没後初めての回顧展となる本展は、《夢見るテレーズ》をはじめ、世界各地の美術館や個人が所蔵する油彩画、素描、愛用品を紹介するほか、終の棲家となったスイスの邸宅に残るアトリエを再現し、画家の創作の背景を探ります。

Balthus (Balthasar Klossowski de Rola) established his own style of figurative painting without having belonged to any school of 20th century art, while inheriting the classical European art style. This exhibition, which is his first retrospective in Japan to be held after his death, introduces *Thérèse Dreaming* and other oils, drawings, and the artist's private belongings on loan from various museums and private collectors worldwide. Moreover, this exhibition will reconstruct his atelier in the Grand Chalet of Rossinière in Switzerland, where he spent his later life exploring the setting behind his artistic creations.

入場料：一般1,600(1,300)円、学生1,300(1,100)円、高校生800(600)円、65歳以上1,000(800)円。()内は20名以上の団体及び前売料金。中学生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。いずれも証明できるものが必要。

会場：東京都美術館 企画展示室
 休室：月曜日(ただし4月28日、5月5日・6日(火)は開室)、5月7日(水)
 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

Admission: Adults: ¥1,600 / College students: ¥1,300 / High school students: ¥800 / Seniors (65 and over): ¥1,000 Closed: Mon (Open on Apr 28, May 5 and 6 Tue), May 7 Wed

公募団体ベストセレクション 美術 2014

5月4日(日・祝)～27日(火)

Best Selection 2014
 May 4 Sun, holiday - 27 Tue

全国の主要な公募団体の中から選定した27の美術団体による合同展覧会。各団体より選出された絵画、彫刻、工芸などのその年の旬の作家を一堂に展示し、美術公募団体展の魅力を紹介し、日本の美術の発展を支える公募団体の力強い作品を展覧します。

This will be a cooperative exhibition featuring works selected by major 27 art groups and associations nationwide. Through works of various genres by "151 artists now in their prime," including Nihonga (Japanese-style Painting), Youga (Western-style Painting), sculpture, print, craft, and watercolor, the exhibition will demonstrate the power and appeal of the "art groups' public entry exhibition."

入場料：一般1,000(900)円、65歳以上700円。()内は20名以上の団体料金。学生以下無料。同時開催中の「バルテュス展」のチケット提示(半券可)にて無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添の方1名は無料。いずれも証明できるものが必要。

会場：東京都美術館 公募展示室 ロビー階第1・第2、ギャラリーA・B・C
 休室：5月7日(水)、19日(月)
 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

Admission: Adults: ¥1,000 / Seniors (65 and over) : ¥700
 Closed: May 7 and 19



古澤洋子(日展)
 《未来へ続く家波》2012年
 Yoko Furusawa (Nitten)
Wave of Houses Continuing into the Future, 2012

CLOSE UP!

このプロジェクトに注目!

東京都美術館のリニューアル・オープンと同時に始動した、アートを介したコミュニティ形成をめざす東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」もいよいよ3年目に突入します。4月にとびら3期生が約40名加わり、さらにパワーアップ。今年も、出会う人々とのコミュニケーションを大切にさまざまな活動を展開していきます。詳細はウェブサイト (<http://tobira-project.info/>) をご覧ください。

This is the third year for the TOBI Gateway Project, which began as a collaborative project between the Tokyo Metropolitan Art Museum and the Tokyo University of the Arts with the aim of fostering communication through art, thereby creating a community. In April, a third batch of Art communicators (TOBIRAs) — about 40 members in total — joined and offered their support. Please see the website for further details.

ミーティングの様子
 A scene from a TOBIRAs meeting



東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



第12回東京音楽コンクール 参加者募集

受付期間:5月12日(月)~16日(金)必着[送付受付のみ]

The 12th Tokyo Music Competition

Application period for acceptance : May 12 Mon - 16 Fri

第12回を迎える「東京音楽コンクール」では、ピアノ、弦楽、金管、声楽部門の参加者を募集いたします。

The 12th "Tokyo Music Competition" is calling for participants for sections of piano, strings, brass, and vocals.

開催部門:

ピアノ部門:ピアノ(~30歳)

弦楽部門:ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ(15歳~30歳)

金管部門:ホルン、トランペット、トロンボーン(16歳~30歳)

声楽部門:ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテナー、テノール、バリトン、バス(20歳~35歳)

1 日本人:日本国籍を有する者(在外日本人は日本国内に連絡先があること)

2 外国人:日本国内に在住する外国人、国籍不問

※年齢は2014年5月31日現在

会場:

文京シビックホール 小ホール(第1次予選)

北とびあ・つつじホール(第2次予選)

東京芸術劇場 コンサートホール(本選)

参加費:

予備審査 無料

第1次予選以降(第2次予選・本選含む) 3万円

賞金(各部門共通):

第1位:100万円

第2位:60万円

第3位:40万円

審査員(◎は審査員長):

ピアノ部門:青柳晋、田部京子、寺田悦子、仲道郁代、野平一郎◎、若林顕

弦楽部門:免束俊之、大谷康子、菅沼準二◎、長谷川陽子、ペアンテ・ポーマン、前橋汀子

金管部門:小田桐寛之、北村源三、栗田雅勝、津堅直弘◎、松崎裕、森博文

声楽部門:市原多朗、伊原直子、大倉由紀枝、大島幾雄◎、小林一男、直野資、永井和子、松本美和子、彌勒忠史

部門共通:国塩哲紀(東京都交響楽団芸術主幹)、三枝成彰(作曲家)、堤剛(コンクール顧問)、ヤン・ウィレム・ロート(コンクール顧問)

東京音楽コンクール総合審査員長:小林研一郎(東京文化会館音楽監督)

※部門共通審査員および総合審査員長は本選のみ審査

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館、読売新聞社、花王株式会社、東京都

※応募要項等の詳細については、ウェブサイト(<http://www.t-bunka.jp/onkon/onkon.html>)をご覧ください

Sections

Piano Section: Piano (age eligibility: up to 30 years)

String Section: Violin, Viola, Cello (age eligibility: between 15 and 30 years)

Brass: Horn, Trumpet, Trombone (age eligibility: between 16 and 30 years)

Vocal: soprano, mezzo soprano, alto, countertenor, tenor, baritone, bass (age eligibility: between 20 and 35 years)



昨年度(第11回)のピアノ部門第1位及び聴衆賞。黒岩航紀
Koki Kuroiwa
© 青柳聡



昨年度の弦楽部門第1位及び聴衆賞。田原綾子(ヴィオラ)
Ayako Tahara
© 青柳聡



昨年度の木管部門第1位及び聴衆賞。コハン・イシュトヴァーン(クラリネット)
Kohán István
© 青柳聡

東京文化会館オペラBOX 多摩公演

ファンパーディング作曲『ヘンゼルとグレーテル』

(全3幕/日本語上演)

8月31日(日)

Tokyo Bunka Kaikan Opera BOX in Tama "Hansel and Gretel"

Aug 31 Sun

東京音楽コンクール入賞者を起用して、初めて観る方にも楽しめるオペラをお届けする「オペラBOX」。2012年10月に東京文化会館小ホールで上演した『ヘンゼルとグレーテル』(日本語版)を多摩地域で再演します。

開演:15:00(14:30開場) 演出・訳詞:三浦安浩 音楽統括・指揮:杉原直基

出演:山下牧子(ヘンゼル)、清水理恵(グレーテル)、所谷直生(魔女)、高橋洋介(ペーター)、駒井ゆり子(ゲルトロード)、文屋小百合(眠りの精)、鷲尾麻衣(霧の精)、ジンジャーブレッド合唱団(児童合唱)、朝岡聡(ナビゲーター)

演奏:塚瀬万起子、柿崎俊也(エレクトーン)、田村拓也(打楽器)

料金:全席指定3,000円 ※各種割引あり 会場:たましん RISURU ホール(立川市市民会館) 大ホール

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館、公益財団法人立川市地域文化振興財団

※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください



山下牧子
Makiko Yamasita



清水理恵
Rie Shimizu

東京文化発信プロジェクト

青少年のための舞台芸術体験プログラム

ワークショップ「オペラをつくろう！」

Music and Performing Arts educational program Workshop - "Let's Make an Opera!"

『ヘンゼルとグレーテル』に出演する児童合唱、本番で使用する小道具等を作成する作業に関する2つのワークショップを開催します。

1. オペラの“声”になる!《児童合唱》

対象:小学生~高校生 30~40人程度 日程:7月22日(火)~8月31日(日) 計20回程度

講師:倉岡典子(児童合唱指導)、三浦安浩(演出)ほか 会場:たましん RISURU ホール(立川市市民会館)ほか

2. お菓子な家づくり!?《工作》

対象:小・中学生 各回20人程度

日程:8月2日(土)・3日(日) 各日午前・午後2回開催 本公演(8月31日(日))

講師:鈴木俊朗(舞台美術)、三浦安浩(演出)ほか 会場:たましん RISURU ホール(立川市市民会館)

※要申込(応募多数の場合は抽選)。詳細はウェブサイトをご覧ください

主催:東京都、東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、公益財団法人立川市地域文化振興財団

CLOSE UP!

お知らせ

東京文化会館は、2014年6月(小ホールは5月)から同年11月まで、施設・設備の改修工事のため休館いたします。その間、東京文化会館主催公演は、東京芸術劇場、北とびあ、たましん RISURU ホール(立川市市民会館)などで開催します。12月からは大ホール、小ホールでさまざまな公演を行いますので、どうぞご期待ください。

Tokyo Bunka Kaikan will be closed from June (the Recital Hall, from May) through November 2014 for renovation of its facilities and equipment. In December, various programs will be featured in the Main and Recital halls. Please look forward to the renovated halls.

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

 東京
芸術
劇場
Tokyo
Metropolitan
Theatre

TACT/FESTIVAL 2014

カミュー・ボワテル「リメディア〜いま、ここで」

5月3日(土・祝)〜6日(火・休)

Camille Boitel "L'immédiat" May 3 Sat - 6 Tue

ズィメルマン エド・ペロ「ハンスはハイリ〜どっちもどっち?!」

5月9日(金)〜11日(日)

Zimmermann & de Perrot "Hans was Heiri" May 9 Fri - 11 Sun

フランスで話題を集める新しい形のサーカス“ヌーヴォー・シルク”。その注目作「リメディア」が初来日!

スイスの二人組、ズィメルマン エド・ペロの「ハンスはハイリ」は、回転する巨大な箱で繰り広げる、アクロバティックなパフォーマンス!

Nouveau cirque has been well received in France and "L'immédiat", a circus performance that has been attracting growing attention, will come to Tokyo for the first time. The Swiss duo Zimmermann & de Perrot will carry out an acrobatic program in huge moving boxes.

カミュー・ボワテル「リメディア〜いま、ここで」

出演：カミュー・ボワテル ほか

料金：大人 3,000 円、子ども(高校生以下) 1,000 円、「リメディア」+「ハンスはハイリ」セット券(大人 4,800 円、子ども(高校生以下) 1,800 円/前売のみ取り扱い) ほか

ズィメルマン エド・ペロ「ハンスはハイリ〜どっちもどっち?!」

構想・演出・舞台デザイン：ズィメルマン エド・ペロ

出演：ディミトリ・ド・ペロ、マルタン・ズィメルマン ほか

料金：大人 3,000 円、子ども(高校生以下) 1,000 円、「リメディア」+「ハンスはハイリ」セット券(大人 4,800 円、子ども(高校生以下) 1,800 円/前売のみ取り扱い) ほか

会場：東京芸術劇場 プレイハウス

主催：東京都、東京芸術劇場・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人 東京都歴史文化財団)

※就学以上のお子様のご家族同伴での鑑賞をおすすめします

"L'immédiat"

Cast: Camille Boitel, etc. Direction: Zimmermann & de Perrot Admission: Adult: ¥3,000, high school students or under: ¥1,000, etc.

"Hans was Heiri"

Cast: Dimitri de Perrot, Martin Zimmermann, etc. Admission: Adult: ¥3,000, high school students or under: ¥1,000, etc.

CLOSE UP!

この楽器に注目!

東京芸術劇場のパイプオルガンは、背中合わせに2つの面を持ち、楽曲の背景に合わせて演奏する面を選べる世界で唯一の回転する楽器です。劇場では世界最大級の規模を誇るパイプオルガンの公演を毎月行っており、気軽に楽しむことができます。

The Tokyo Metropolitan Theatre features two pipe organs built upon a rotating base in its concert hall: one with a classic design, the other modern. The two organs have been set back-to-back so that players can choose the one that best suits the music score. This is the only pipe organ in the world that can be rotated in a hall. The theatre holds monthly pipe organ concerts, which visitors are welcome to freely attend.


 カミュー・ボワテル「リメディア〜いま、ここで」
© Vincent Beaume

 ズィメルマン エド・ペロ「ハンスはハイリ〜どっちもどっち?!」
© Mario Del Curto

東京芸術劇場 Presents クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会 6月21日(土)

 Tokyo Metropolitan Theatre Presents Classical Players, Tokyo Concert
Jun 21 Sat

クラシカル・プレイヤーズ東京と仲道郁代のコラボレーション第4弾! フォルテピアノ(モーツァルトが生きた時代のピアノ)を使用し、モーツァルトのピアノ協奏曲やシューベルト不朽の名作「未完成交響曲」を取りあげます。

This will be Classical Players Tokyo and Ikuyo Nakamichi's fourth collaboration. Playing fortepiano (the instrument for which Mozart wrote his music), Mozart's piano concerto and Schubert's timeless masterpiece "Unfinished Symphony" will be featured.

開演：15:00 出演：有田正広(指揮)、仲道郁代(フォルテピアノ)、クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用)

ソロコンサートマスター：豊嶋泰嗣

曲目：メンデルスゾーン『夏の夜の夢』序曲ホ長調 op.21、モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番イ長調 K488、シューベルト/交響曲第7番短調 D759 [未完成]

料金：S席：4,000 円、A席：3,000 円、B席：2,000 円

会場：東京芸術劇場 コンサートホール

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

※未就学児の同伴・入場はご遠慮ください

Performer: Masahiro Arita (Conductor), Ikuyo Nakamichi (Fortepiano), Classical Players Tokyo

Admission: S seats: ¥4,000, A seats: ¥3,000, B seats: ¥2,000

第9回 新池袋モンパルナス 西口まちかど回遊美術館

5月15日(木)〜28日(水)

※東京芸術劇場は15日〜16日は保守日のため、17日(土)から

The 9th New Ikebukuro Montparnasse West Gate Town Museum

May 15 Thu - 28 Wed

* May 17 Sat - 28 Wed Tokyo Metropolitan Theatre will be closed on May 15-16 for building maintenance.

昭和初期から戦前にかけて芸術家の街として輝きを放った池袋西口周辺は数カ所、「街のどこかが美術館」をコンセプトに、展覧会やワークショップなどを開催。詳細はウェブサイト(<http://www.kaiyu-art.net/>)をご覧ください。

In the late 1920s to 1940s, Ikebukuro Station's west gate area was popular amongst a number of artists as a place of residence. With the concept of the "town itself as a museum", numerous locations will hold exhibitions and workshops. Further details will be provided on the website.

会場：東京芸術劇場、東武美術画廊(東武百貨店内)、立教大学、ルミネ池袋 ほか

主催：新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館実行委員会


 有田正広
Masahiro Arita
© Hikaru.☆

 仲道郁代
Ikuyo Nakamichi
© Kiyotaka Saito

 クラシカル・プレイヤーズ東京
Classical Players Tokyo

 フォルテピアノ
Fortepiano

 新池袋モンパルナス
西口まちかど
回遊
美術館

トーキョーワンダーサイト



Tokyo Wonder Site



川久保ジョイ 〈Anagrams: 'a haiku man cube fish'〉 2014年
Yoi Kawakubo, *Anagrams: 'a haiku man cube fish'*, 2014



加瀬才子 〈Life-time Project〉 2013年
Saiko T. Kase, *Life-time Project*, 2013

トーキョー・ストーリー 2014

第1期: 5月3日(土・祝)~6月8日(日)

第2期: 6月14日(土)~7月21日(月・祝)

第3期: 7月26日(土)・27日(日)

Tokyo Story 2014

Part1: May 3 Sat, holiday – Jun 8 Sun

Part2: Jun 14 Sat – Jul 21 Mon, holiday

Part3: July 26 Sat, 27 Sun

トーキョーワンダーサイト (TWS) のレジデンス・プログラムでは、アート、デザイン、音楽、建築といった創造的分野で活動する世界中のクリエイターたちが参加し、TWSのレジデンス施設や各国の派遣先で滞在制作を行っています。本プログラムの昨年度成果発表展となる「トーキョー・ストーリー2014」では、各クリエイターが滞在制作を経てつくりあげた作品を約3ヶ月にわたり2会場で紹介しします。

参加アーティスト: [第一期] 遠藤一郎、加瀬才子、川久保ジョイ、永岡大輔、福居伸宏、松本力、mamoru、山本良浩 [第二期] 小沢剛、オル太、栗林隆、佐藤未来、友政麻理子、中島佑太、二藤建人、潘逸舟、三原聡一郎、イルワン・アーメット&ティタ・サリナ、ハリバルタナ・モハンティ [第三期(7月)] 中澤沙央里

Tokyo Wonder Site (TWS) offers residency programs targeting creators around the world working in various fields of art, design, music, and architecture. Tokyo Story 2014 is a series of exhibitions, presenting achievements by the creators who participated in those programs in 2013.

Artists: [Part 1] Ichiro Endo, Saiko T. Kase, Yoi Kawakubo, Daisuke Nagaoka, Nobuhiro Fukui, Chikara Matsumoto, mamoru, Yoshihiro Yamamoto; [Part 2] Tsuyoshi Ozawa, OLTA, Takashi Kuribayashi, Miku Sato, Mariko Tomomasa, Yuta Nakajima, Kento Nito, Ishu Han, Soichiro Mihara, Irwan Ahmett & Tita Salina, Paribartana Mohanty; [Part 3 (July)] Saori Nakazawa

CLOSE UP!

この展覧会に注目!

若手美術作家の登竜門の一つである公募展「トーキョーワンダーウォール」。平面部門、および立体・映像・インスタレーション部門それぞれの入選作品を6月7日(土)~29日(日)東京都現代美術館にて展示します。

An open call exhibition, "TOKYO WONDER WALL 2014" will be held at the Museum of Contemporary Art Tokyo (June 7, Sat – June 29, Sun) to provide young artists with a gateway to gain recognition of their works.

「トーキョーワンダーウォール公募2013入選作品展」展示風景 2013年
"TOKYO WONDER WALL 2013" Installation View, 2013



永岡大輔 カンテリヒトパーティー 夕張
2013年
Daisuke Nagaoka, *Party at Hikari-tent*, Yubari, 2013

入場料: 無料

会場: トーキョーワンダーサイト本郷、トーキョーワンダーサイト渋谷

休館: 月曜日(ただし5月5日・6日(火)、7月21日は開館)、5月7日(水)

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

Admission: Free

Venue: Tokyo Wonder Site Hongo, Tokyo Wonder Site Shibuya

Closed: Mon(Open on May 5 and 6 Tue, Jul 21), May 7 Wed

東京文化発信プロジェクト

Tokyo Culture Creation Project



東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、芸術文化団体やアートNPO等と協力して都内各地で多様な事業を実施しています。

Tokyo Culture Creation Project, in cooperation with arts organizations and NPOs, undertakes a variety of programs to establish Tokyo as a city of global cultural creativity.



六本木アートナイト2013展示風景
© 六本木アートナイト実行委員会
Photos from Roppongi Art Night 2013
© Roppongi Art Night Executive Committee



六本木アートナイト2013コアタイムキックオフセレモニー
© 六本木アートナイト実行委員会
Photos from Roppongi Art Night 2013
© Roppongi Art Night Executive Committee

六本木アートナイト 2014

4月19日(土) 10:00 ~ 20日(日) 18:00

Roppongi Art Night 2014

Apr 19 Sat, 10:00 - 20 Sun, 18:00

さまざまな商業施設や文化施設が集積する六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴。現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどの多様な作品を街なかに点在させ、非日常的な体験をつくり出します。今回の開催テーマは「動け、カラダ!」。身体性を意識したプログラムを展開していきます。

An overnight art festival held in various cultural and commercial facilities in the Roppongi area.

会場: 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

参加予定アーティスト: 西尾美也、伊藤キム ほか

入場料: 無料 (ただし、一部の美術館企画展及びプログラムは有料)

主催: 東京都、アーツカウンシル東京・東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合 (五十音順)】

Venue: Roppongi Hills, Mori Art Museum, Tokyo Midtown, Suntory Museum of Art, 21_21 DESIGN SIGHT, The National Art Center, Tokyo; Roppongi shopping streets, and other collaborating facilities as well as public spaces in the Roppongi area.

Admission: Free (Some exhibitions and programs are subject to fees.)

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン 「熱狂の日」音楽祭 2014 〈連携事業〉

5月3日(土・祝) ~ 5日(月・祝)

La Folle Journée au Japon "Days of Enthusiasm" Music Festival 2014
(Collaborative Project)

May 3 Sat, holiday - 5 Mon, holiday

ラ・フォル・ジュルネは、クラシック音楽のすそ野を広げ、その楽しさを一人でも多くの人と分かち合うことを目的とする音楽祭です。世界最大級のこの音楽祭と連携し、子供たちを対象に、体験を重視したワークショップや若手音楽家の育成を図るプログラム等を実施します。

La Folle Journée is a music festival that seeks to broaden horizons and share the joy of classical music with as many people as possible. In cooperation with one of the world's largest music festivals, we will implement programs for children designed to develop young musicians through workshops emphasizing hands-on experiences.



キッズプログラム
Kids Program

TERATOTERA

TERATOTERA

TERATOTERA (テラトテラ) は、JR 中央線高円寺駅~国分寺駅区間をメインとした東京・杉並及び武蔵野・多摩地域を舞台に展開する、地域密着型アートプロジェクトです。アート、ライブ、ダンス、トークなど多岐にわたるジャンルの催しを活動エリア各駅で開催します。

TERATOTERA is a community-based art project that will take place mainly around Koenji and Kokubunji stations on the JR Chuo Line, Suginami-ku, as well as the Musashino, and Tama areas. A wide selection of art, live and dance performances, and speaking events will be featured at each area.



TERATOTERA 途中下車の旅16@吉祥寺
「公園のリズム 公園のメロディー」
写真:飯川雄大
TERATOTERA: TRAIN Stopover Journeys No. 16@Kichijoji
"Park Rhythms, Park Melodies"
Photo: Takehiro Iikawa

CLOSE UP!

このプログラムに注目!

パフォーマンスキッズ・トーキョーでは、ダンスや演劇などのプロのアーティストを学校やホールに派遣、ワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品をつくります。

Performance Kids Tokyo sends professional dancers and stage artists to schools and cultural facilities to hold workshops. Children will take the lead in creating stage performances.

平成25年度 ムーブ町屋 / 発表公演 Move Machiya in 2013 / Public performance
写真: 仙道美穂子 Photo: Mihoko Sendo





完成予想図

Rendering

改修工事のため全面休館中 2014 年秋リニューアル開館

Currently closed for renovations. Will reopen in the autumn of 2014

東京都庭園美術館は 2011 年 11 月より、リニューアル工事のため全面休館しています。今回の工事では、歴史的建造物である旧朝香宮邸の保存と建物の特性を生かした美術館活動の実施を目的に、本館（旧朝香宮邸）改修工事、及び新館の改築工事を行います。休館中もウェブサイトでは、改修工事の進捗状況、リニューアルオープンに向けての最新情報などを発信しています。

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum has been closed since November 1, 2011 for renovations. Work is being done on the main building (the former residence of the family of Prince Asaka) and the annex, with the purpose of conserving the historic structure of this former residence and to enable the buildings to function more effectively as an art museum. During the closure period, the museum has been reporting the ongoing renovation process and its preparatory activities.

Please see the website at <http://www.teien-art-museum.ne.jp>

CLOSE UP!

この小冊子に注目!

休館中にも実施される、多様な教育プログラムのひとつとして、昨年は「架空のテレビ小冊子(zine) にしてみる」を開催しました。「もしここが自分の家だったら?」「まだ行ったことないけどどこそこなところ!」などなど、自分にとっての庭園美術館を自由に空想し、グループでアイデアを出し合って、いくつかのユニークな小冊子が完成しました。

For one of the educational programs held during the museum's closure period, the museum challenged people to "try to make an imaginary Teien Art Museum in a booklet called a zine". Other themes included "If this were my home..." and "I've never been there before but it may be like this!" Participants imagined freely and generated ideas in several groups to complete unique booklets.



テーブルにさまざまな素材を広げ、制作に没頭する参加者たち
Participants devote themselves to creating booklet with various materials on the table.

公益財団法人 東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture



東京都歴史文化財団と『美術手帖』の連動企画 「第3回トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション」 受賞作品展を開催

A collaborative project of the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture and Bijutsu Techo
"The 3rd Tokyo Art Navigation Competition"

東京都歴史文化財団が運営しているウェブサイト「トーキョー・アート・ナビゲーション」では、作家活動や作品を紹介できるコンテンツ「アーティスト・ファイル」の登録者を対象に、2011年から毎年コンペティションを実施しています。今年は1月に受賞作品展を開催し、大賞と特別賞受賞者が受賞作などを展示しました。

受賞コメント

大賞 大野修平さん

受賞作品《RPD-04》は、実物の植物を扱った一連のシリーズです。コンピュータが一般化した現在、誰でも写真や映像をデジタル加工できるようになりました。加工されたイメージは、時として現実として扱われ身の回りに存在しています。このシリーズでは植物を素材として、そのイメージをアナログな手法で変換、再構築し、Photoshopで加工したような実物をつくりあげています。今後もこの賞を励みに精進してまいりたいと思います。

特別賞 衛藤文俊さん

受賞作品《線の細道図ギャラクシー》は、現在も制作を続けている連作《POLE POSITION》のうちの1点です。故郷を離れ東京に移り住んだことで逆に故郷が際立ち、そこにアイデンティティがあることに気づいた「外側からの視点」で描いたものです。動物のマーキング対象となる電柱を、スプレーを使用し描くことで意図を変換。家や電柱を人に見立て、パネルを左右に増やすことで永遠に反復される世界や、繋がりある世界を表しています。

Shuhei Ohno, Grand Prize winner

The award-winning work "RPD-04" is a series portraying actual plants. In this series, I have reconstructed images of actual plants by hand but that look like they were digitally finished with Photoshop.

Fumitoshi Eto, Special Prize winner

"Sen no Hoshomichi zu Galaxy" is one of a series of works grouped together under the title "POLE POSITION," which I am still continuing to create today. Telephone poles, which become objects for animals marking their territory, are drawn with color spray to transform the meaning. I portray houses and telephone poles as human beings, adding panels on the left and right to portray a world related to other worlds.



BT galleryでの展示風景
上:大野修平《RPD-04》
下:衛藤文俊《線の細道図ギャラクシー》と《誰そ彼》

Tokyo Art Navigation

Official website <http://tokyoartnavi.jp/>

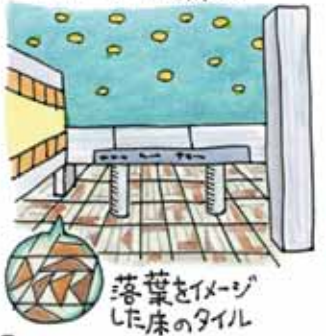
Twitter https://twitter.com/TAN_compe

Facebook <https://www.facebook.com/TanCompe>

東京文化会館

1961年に日本近代建築の巨匠、前川國男の設計で建てられた本格的な音楽ホール

エントランスを入ると星を思わせるランダムな照明



「外のような内」を演出

館内は、デザイン的工夫と遊び心があふれています



まさにここは現実と非現実の境界線



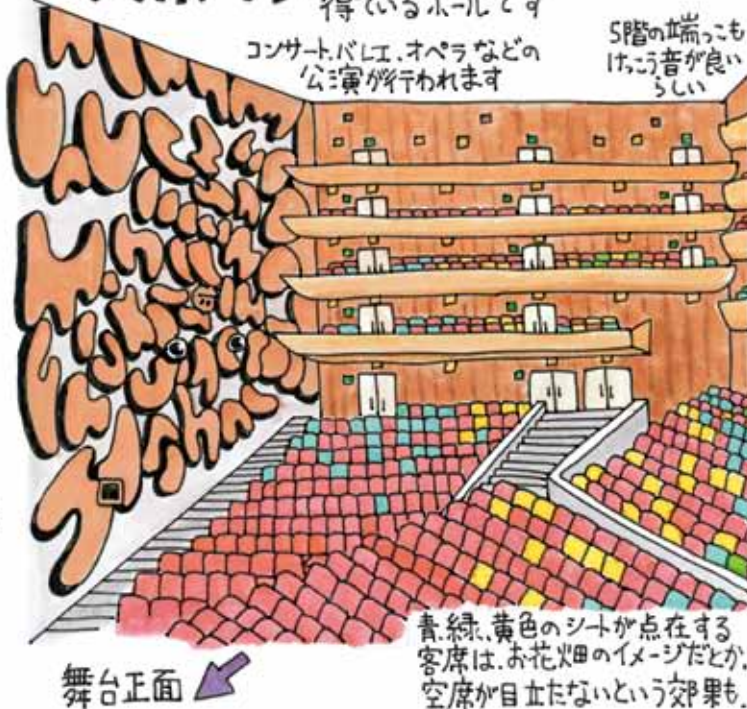
大ホール入口は一面サーモンピンク！高揚感倍増です

大ホール

音の良さで、音楽ファンから絶大な支持を得ているホールです

コンサート、バレエ、オペラなどの公演が行われます

5階の端っからは、音が良いらしい



舞台正面

青緑、黄色のシートが点在する客席は、お花火のイメージだとか、空席が目立たないという効果も。

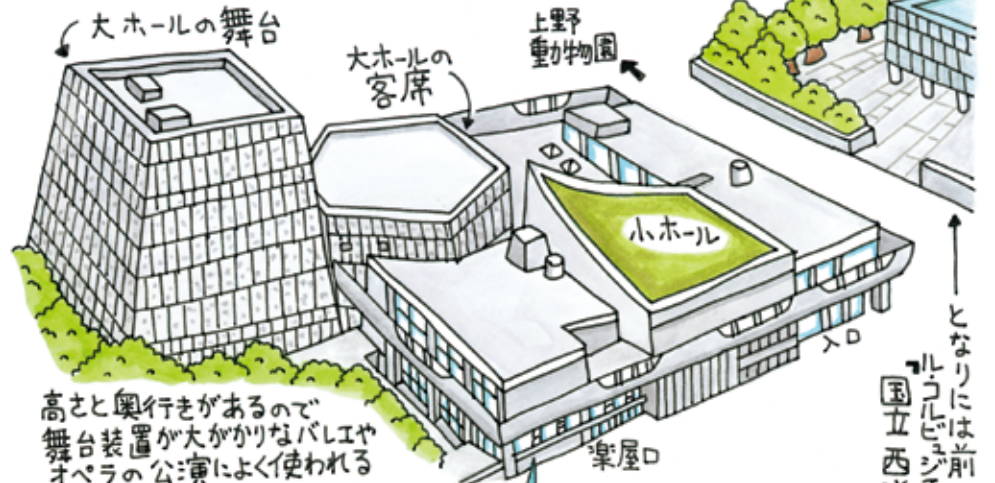
JR上野駅公園口を出て目の前。とても有名な施設だけれど、貴重な資料や音源がある音楽資料室など、意外と知られていない秘密がたくさんありました。コンサートやオペラ、バレエを観に訪れたら、建築家のこだわりがみっちり詰まった館内を探検してみてもいい？

雲形の拡散体は彫刻家 向井良吉の作

重厚なブナ材

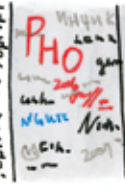
会館全景

公園の木々に囲まれていて拝みにくい全景を絵にしてみました。



高さとお興行きがあるので、舞台装置が大がかりなバレエやオペラの公演によく使われる

英語、フランス語、日本語、中国語、ロシア語



バックステージの壁や柱には各国演者たちのメモリアルな落書き



窓枠の形が「国立西洋美術会館」の中庭の模様と同じ



ル・コルビュジエが提唱した建築の基本寸法（モデュール）です

と云うには前川國男の師匠ル・コルビュジエが設計した国立西洋美術会館

音楽資料室

クラシックを中心とした音楽専門の図書館。無料で閲覧と視聴ができます



小さいカード目録もまだ健在

アナログ盤やDVD、レーザーディスクの視聴もできる

上野予といえばやっぱり...併設のカフェヒビキ



肉パンダまん (250円)

「パンダ肉まん」と言わないのがミソ。パンダの肉みたいに聞こえちゃうから

黒い部分は食用の竹炭



当然こうなります。カワイソウですけど

連載：東京「鉄道」風景

A look at Tokyo's railways

写真・文／千倉志野

Photographs and Text by Shino Chikura

Scene4

東京駅

Tokyo Station

写真協力：東日本鉄道文化財団、東日本旅客鉄道株式会社



東京の玄関口にはアートがいっぱい

The gateway to Tokyo is filled with art

5年半という長い修復期間を経て創建当時の姿に
よみがえった東京駅。リニューアルして1年以上が経
つが、実はじっくりと細部を見たことがなかったかも
……と思い、今回は東京駅の内部を見学!

まずは南北に位置するふたつのドームへ。頭上のク
ラシカルな装飾が優雅で美しく、しばし見とれる。混
雑する改札口なのに、頭上を見
上げてばっとしているとどこか
ヨーロッパの静かな建物に在るよ
うな気分になってくるから不思議
だ。現代的な超高層ビルに作り
替えるのではなく当時のままに復
元してくれてありがとう!と早速な
ぜだか誰かにお礼を言いたくな
ってしまった。

ふと、北側のドームの改札脇
にギャラリーの入口があることに
気づき、中へ。駅舎内にギャラ
リーがあったなんて……。入って
さらにびっくり。展示空間は重厚
かつワイルドな煉瓦が剥き出し
の壁が続き、場所によっては鉄骨まで見えていたりし
て、とっても素敵。2フロアある展示室は見応え充分で、
新幹線の出発までの短い待ち時間に見るにはちょっと
もったいない。わざわざこのために東京駅に来る価値
アリな場所だ。

これだけ広い東京駅、他にもさまざまな場所に実は
アートが存在していたりして、うーん奥が深い。100
年というその歴史に感服した一日だった。

Tokyo Station has now been revived to its original appearance
following a long restoration period, which took five and half years.
While it has been more than one year since its renewal opening, I
realized that I had not actually had a chance to observe the building
carefully in detail. So, this time I had a tour of the inside of Tokyo
Station!

First, I visited the two domes, which are located at the north and
south of the station. For a while, I drank in the elegance and beauty of the classical
decoration above my head. Although it is a busy ticket gate, looking up over my
head and daydreaming, it is a wonder that I started to feel as if I were inside a quiet
building somewhere within Europe. Right away somehow I felt that I wanted to thank
someone, "Thanks for restoring it exactly as how it was at that time, instead of
reconstructing it as a modern skyscraper!"

I happened to notice that there was an
entrance to a gallery at the side of the
ticket gate of the north dome and I went in.
I was even more surprised when I entered
the gallery. Throughout the exhibition space
is a heavy and wild bare brick wall, and
even steel frames are also visible in some

places. This is fantastic. The exhibition rooms, which are spread
over two floors, are so spectacular that I would not recommend
that you visit there when you only have a short waiting time before
the departure of your Shinkansen. However, it is worth coming all
the way to Tokyo Station just to visit this place.

As Tokyo Station is such a huge space, there is much more to
learn about it, and in fact, other art exists in various locations
within the station. This was the day that I came to admire the
station for its 100 years of history.



千倉 志野 Shino Chikura

1977年横浜生まれ。学習院大学文学部ドイツ
文学科卒業後、スタジオ・アシスタントを経て、
2003年にドイツ・ベルリンにて写真を学ぶ。フ
ォトグラファーとして、「人」「旅」「自転車」をキーワ
ードに国内外で撮影を行う。

Born in Yokohama in 1977. After majoring in German
Literature at the Faculty of Letters in Gakushuin
University, she worked as a studio assistant, following
which she went to Berlin, Germany to work as a
photographer assistant in 2003. "People," "travel" and
"bicycles" are the keywords in the pictures she takes
as a photographer.

<http://www.shinofoto.net/>

[今月の撮影スポット]

東京駅

1914年に誕生。国指定重要文化財である駅舎の復原が
2012年10月に終了して、創建当時の姿を取り戻した。ステ
ンドグラスは京葉線の改札に向かうエスカレーター横にある。
「東京ステーションギャラリー」は、丸の内北口改札前。
Tel: 03-3212-2485

展覧会情報はウェブサイト
(<http://www.ejrcf.or.jp/gallery/>)を参照。

Tokyo Station

The station originally opened in 1914. Restoration of the station
building, which is a nationally designated important cultural
property, was completed in October 2012 and it has now regained
its original appearance.

Information

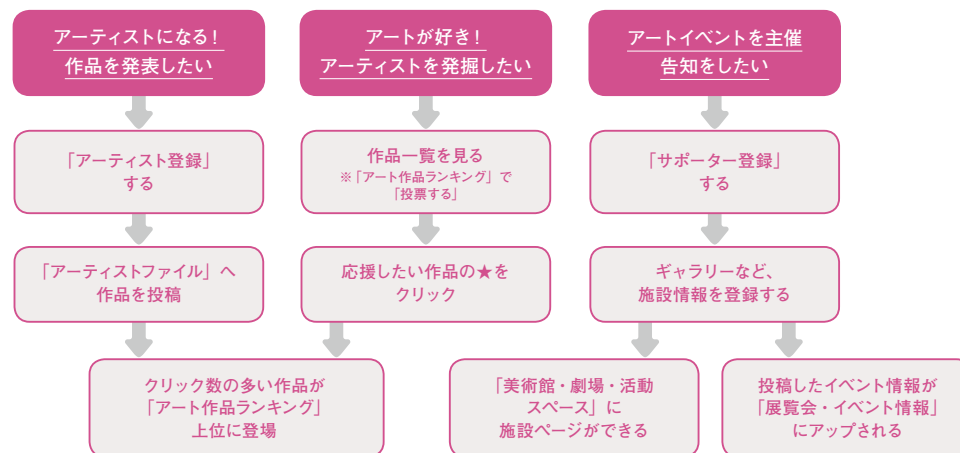
TOKYO ART NAVIGATIONのご案内

<http://tokyoartnavi.jp>

メンバー登録でアートの発信、応援を!

Tokyo Art Navigationは、東京都内各地で連日開催され
ているアートイベントや展覧会情報をリアルタイムで紹介す
るウェブサイトです。「サポーター登録」をすると、誰でも情
報を発信することができます。

作品を発表したい方は「アーティスト登録」へ。1,700人以
上(平成26年3月現在)が参加している「アーティストファ
イル」にて活動予定や作品の掲載が可能です。アートファ
ンの方には、アーカイブの中からお気に入りの作品を探し出
し、応援するのもお勧め。★印をクリックして票を入れる
と、票数に応じて「アート作品ランキング」が決定します。



Sign up as a member and transmit your art!

Tokyo Art Navigation is a website that introduces, in real time, art
events and exhibition information held at various locations in Tokyo.
Anyone who signs up with Supporter Registration can send out their
information. If you want to introduce your art works, register your
profile under Artist Registration. Then you can spread the message
about your works and activity schedules under the Artist File, a
location of more than 1,700 participating artists. For art lovers, we
recommend that you use the archive to find out about your favorite
works. You can click the star mark (★) to create an Art Work
Ranking.

Column



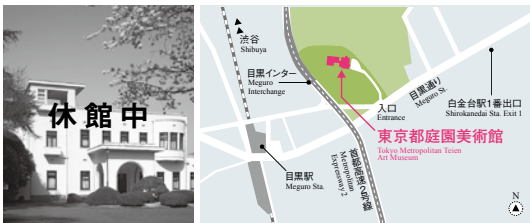
アーティストを目指す人、アートを楽しみたい人必見のコラム3本
を、毎月更新しています。4月からは内容を一新してお届けする予定
です。
Three monthly updated must-read columns for art lovers and those who aspire to
become artists. The content will be redesigned from April 2014.

[これまでのコラム]

- アートの視点:開催中のお勧め展覧会のレポート
- イベント・レポート:注目のアートイベントをお知らせ & レポート
- 東京ステージ:東京を舞台にした本や映画を紹介

01 東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum



改修工事のため全面休館中 2014年秋リニューアル開館予定
TEMPORARILY CLOSED FOR RENOVATIONS - WILL REOPEN IN THE AUTUMN OF 2014

所在地: 〒108-0071 港区白金台5-21-9 交通: 都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分、JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分 休館日: 第2・第4水曜日(祝日の場合は翌木曜日)・年末年始 開館: 10:00-18:00
Address: 5-21-9 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-0071 Closed: 2nd and 4th Wednesday (or Thursday when Wednesday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 10:00-18:00
Tel: 03-3443-0201 URL: www.teien-art-museum.ne.jp
※上記の情報は休館前のものです
*The above information is for reference only. The museum is temporarily closed for renovations.

02 東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



所在地: 〒130-0015 墨田区横綱1-4-1 交通: JR両国駅西口より徒歩3分、都営大江戸線両国駅A4 出口より徒歩1分 休館日: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 観覧料: 常設展は一般600円・大学生480円・65歳以上・都外・高校生300円、都内中・小学生以下は無料 開館: 9:30-17:30(土曜日-19:30)
Address: 1-4-1 Yokoami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥600/Students (College/University) ¥480/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥300 Open: 9:30-17:30 (-19:30 Saturday)
Tel: 03-3626-9974 URL: www.edo-tokyo-museum.or.jp

03 江戸東京たてもの園

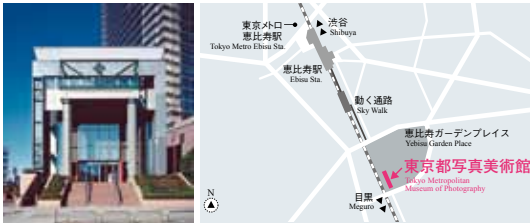
Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



所在地: 〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 交通: JR武蔵小金井駅北口よりバス2番3番乗り場より[小金井公園西口]下車徒歩5分、西武新宿線花小金井駅南口よりバス[南花小金井](小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分 休館日: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 観覧料: 一般400円・大学生320円・65歳以上・都外中・高校生200円、都内中・小学生以下は無料 開館: 9:30-16:30(4-9月-17:30)
Address: 3-7-1 Sakura-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0005 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥400/Students (College/University) ¥320/Seniors (65 and over), Junior high school(outside of Tokyo) and high school students ¥200 Open: 9:30-16:30 (-17:30, Apr.-Sep.)
Tel: 042-388-3300 URL: www.tatemonoen.jp

04 東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



所在地: 〒153-0062 目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 交通: JR恵比寿駅東口より徒歩7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分 休館日: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 開館: 10:00-18:00(木・金曜日-20:00)
Address: Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 10:00-18:00 (-20:00 Thursdays and Fridays)
Tel: 03-3280-0099 URL: www.syabi.com

05 東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo



所在地: 〒135-0022 江東区三好4-1-1 交通: 東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分、都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分、東京メトロ東西線木場駅3番出口より徒歩15分、バス停「木場駅」から(業10)「ときょうスカイツリー」駅前行、(東20)「錦糸町駅前」行、JR東京駅丸の内北口2番乗り場よりバス(東20)「錦糸町駅前」行、すべて「東京都現代美術館前」下車 休館日: 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 観覧料: 常設展は一般500円・大学生400円・高校生・65歳以上250円、中学生以下無料 開館: 10:00-18:00
Address: 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥500/Students (College /University) ¥400/High school students and seniors (65 and over) ¥250 Open: 10:00-18:00
Tel: 03-5245-4111 URL: www.mof-art-museum.jp

06 東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



所在地: 〒110-0007 台東区上野公園8-36 交通: JR上野駅公園口より徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分、京成電鉄上野駅より徒歩10分 休館日: 第1・第3月曜日・特別展・企画展は月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)・年末年始 開館: 9:30-17:30(特別展開催中の特別展・企画展は金曜日20:00まで)
Address: 8-36 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007 Closed: Rental Gallery: 1st and 3rd Monday and New Year holidays / Special Exhibition Gallery: Mondays (or Tuesdays when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 9:30-17:30 (Special Exhibition: 20:00 Friday)
Tel: 03-3823-6921 URL: www.tobikan.jp

07 東京文化会館

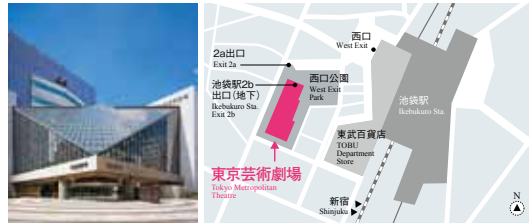
Tokyo Bunka Kaikan



所在地: 〒110-8716 台東区上野公園5-45 交通: JR上野駅公園口より徒歩1分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩5分、京成電鉄上野駅より徒歩7分 休館日: 年末年始 開館: 9:00-22:00
Address: 5-45 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-8716 Closed: New Year holidays Open: 9:00-22:00
Tel: 03-3828-2111 URL: www.t-bunka.jp

08 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



所在地: 〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 交通: JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、地下2b 出口直結 休館日: 年末年始 開館: 9:00-22:00
Address: 1-8-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0021 Closed: New Year holidays Open: 9:00-22:00
Tel: 03-5391-2111 URL: www.geikeiji.jp

※各施設によって、保守点検、工事休館などにより、開館日時などが変更になることがあります。詳細はウェブサイトをご参照ください。
*Opening hours may be subject to change at short notice due to facility maintenance or other unexpected circumstances. Please refer to the website of each facility for details.

09 トーキョーワンダーサイト本郷

Tokyo Wonder Site Hongo



所在地：〒113-0033 文京区本郷2-4-16 交通：JR 御茶ノ水駅御茶ノ水橋口・水道橋駅東口、都営三田線水道橋駅A1出口、東京メトロ丸ノ内線本郷三丁目駅1番出口、御茶ノ水駅1番出口、都営大江戸線本郷三丁目駅3番出口より各徒歩7分 休館日：月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 開館：11:00-19:00
Address: 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 11:00-19:00
Tel: 03-5689-5331 URL: www.tokyo-ws.org

10 トーキョーワンダーサイト渋谷

Tokyo Wonder Site Shibuya



所在地：〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 交通：JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分 休館日：月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 開館：11:00-19:00
Address: 1-19-8 Jinnan, Shibuya-ku, Tokyo 150-0041 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 11:00-19:00
Tel: 03-3463-0603 URL: www.tokyo-ws.org

ART NEWS TOKYO 2014.4-6

発行日：2014年4月1日(季刊1、4、7、10月発行)
発行：公益財団法人東京都歴史文化財団
〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1 Tel. 03-5610-3503
企画：公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局総務課企画広報係
編集：株式会社美術出版社
デザイン：宮外麻周(m-nina)
翻訳：株式会社アーバン・コネクションズ
印刷・製本：富士美術印刷株式会社

© Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture. All rights reserved.

本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

※掲載した情報は2014年3月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。

ART NEWS TOKYO Art & Culture Calendar 4-6月の催事カレンダー

●休館日は各館異なります。カレンダー下の休館日欄をご確認ください。●本表は主要な企画展と関連イベント、主催公演を中心としたスケジュール表です。企画展以外に、常設展示室、映像ライブラリー、図書室を利用できる館もあります。●掲載した情報は2014年3月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。●掲載情報以外の催事、入場料、その他詳細については、各館のホームページでもご案内しています。●印のついたプログラムは、東京文化発信プロジェクト事業です。●The information herein as of March 2014 Schedules may be subject to change due to unavoidable circumstances. Please refer to the website of each facility for details. ●English interpretation may not be provided at each event. ●A program of the Tokyo Culture Creation Project.

4

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed

Table of art events for April, listing institutions like Tokyo Metropolitan Teien Art Museum, Edo-Tokyo Museum, and their respective exhibitions and dates.

■休館日：月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都美術館は第1・第3月曜日、特別展・企画展は毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都江戸東京博物館、東京都写真美術館は28日（月）開館 ※江戸東京たてもの園は7日（月）、28日（月）開館

5

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat

Table of art events for May, listing institutions like Tokyo Metropolitan Teien Art Museum, Edo-Tokyo Museum, and their respective exhibitions and dates.

■休館日：月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都美術館は第1・第3月曜日、特別展・企画展は毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都江戸東京博物館は6日（火・休）開館、7日（水）休館、12日（月）、19日（月）は開館

6

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon Tue Wed Thu Fri Sat Sun Mon

Table of art events for June, listing institutions like Tokyo Metropolitan Teien Art Museum, Edo-Tokyo Museum, and their respective exhibitions and dates.

■休館日：月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都美術館は第1・第3月曜日、特別展・企画展は毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※東京都江戸東京博物館は6日（火・休）開館、7日（水）休館、12日（月）、19日（月）は開館

<h1>4</h1> <h2>東京文化会館</h2> <p>Tokyo Bunka Kaikan 休館日：4月14・15日、5月1・2日 小ホールは5月1日～12月11日まで、大ホールは6月1日～11月30日まで休館 Closed: Apr 14 Mon, 15 Tue, May 1 Thu, 2 Fri Recital Hall will be closed from May 1 through Dec 11. Main Hall will be closed from Jun 1 through Nov 30.</p> <p>★主な主催公演</p>	<p>25日 小ホール</p> <p>モーニングコンサート番外編「春の夜コンサート」 開演:19:00(18:30開場) 出演:石亀協子(ヴァイオリン)、金子鈴太郎(チェロ)、須藤千晴(ピアノ) 曲目:エルガー/愛の挨拶、クライスラー/美しきロマリン、愛の喜び、ピアソラ/リベルタンゴ ほか 料金:全席自由500円</p>	<p>19日～27日 シアターイースト</p> <p>eyes plus 範由遊泳「うまれてないからまだしねない」 作・演出:山本卓卓 出演:大橋一輝、龍川ふみ、基本幸良 ほか 料金:3,000円 ほか</p>
	<p>25 Concert Hall</p> <p>Spring Night Concert Start:19:00 Performer:Kyoko Ishigame (Violin), Rintaro Kaneko (Cello), Chiharu Sudo(Piano) Admission: ¥500</p>	<p>17日 コンサートホール</p> <p>東京芸術劇場ナイトタイム・バイオルガンコンサート Vol.4 開演:19:30 出演:岩崎真実子(オルガン)、真言宗智山派観照会(声明) 料金:全席指定1,000円</p>
<h2>東京芸術劇場</h2> <p>Tokyo Metropolitan Theatre 休館日：14・21日 Closed: 14 Mon, 21 Mon</p> <p>★主な主催公演</p>		
<p>8日～30日 (プレビュー公演8日、9日) プレイハウス</p> <p>酒と涙とジギルとハイド 作・演出:三谷幸喜 出演:片岡愛之助、優香、藤井隆 ほか 料金:S席9,500円、A席7,500円 ほか</p>	<p>19-27 Theatre East</p> <p>eyes plus Hanchu yuei "I can't die without being born" Text & Direction: Suguru Yamamoto Performer:Kazuki Oohashi, Fumi Kumakawa, Sachiro Nomoto Admission:¥3,000</p>	<p>22日 コンサートホール</p> <p>東京芸術劇場ティータム・コンサート Vol.5 開演:14:00 出演:川越聡子(ポジティブ・オルガン) 料金:出場無料(定員150名程度)</p>
	<p>17 Concert Hall</p> <p>Tokyo Metropolitan Theatre Nighttime Organ Concert Start:19:30 Performer:Mamiko Iwasaki(Organ), Chanting of Buddhist hymns Admission:¥1,000</p>	<p>22 Concert Hall Entrance</p> <p>Tokyo Metropolitan Theatre Teatime Concert Start:14:00 Performer:Satoko Kawagoe(Positive Organ) Admission:Free</p>

<h1>5</h1> <h2>東京芸術劇場</h2> <p>Tokyo Metropolitan Theatre 休館日：12-16日 Closed: 12 Mon-16 Fri</p> <p>★主な主催公演</p>	<p>3日～6日 プレイハウス</p> <p>TACT / FESTIVAL リメディア〜いま、ここで◎ 出演:カミューボワテル ほか 料金:一般3,000円、子ども(高校生以下)1,000円 ほか</p>	<p>3-6 Playhouse</p> <p>TACT/FESTIVAL "L'immédiat" ◎ Cast:Camille Boitel, etc. Admission: Adult: ¥3,000, High school students or under: ¥1,000, etc.</p>
	<p>9日～11日 プレイハウス</p> <p>TACT / FESTIVAL ハンスはハイリ〜どっちもどっち?! ◎ 構想・演出:舞台デザインズイメルマン エド・ペロ 出演:ディミトリ・ド・ペロ、マルタン・ズイメルマン ほか 料金:一般3,000円、子ども(高校生以下)1,000円 ほか</p>	<p>9-11 Playhouse</p> <p>TACT/FESTIVAL Zimmermann & de Perrot "Hans was Heir!" ◎ Concept, direction and stage design: Zimmermann & de Perrot Cast: Zimmermann & de Perrot, etc. Admission: Adult: ¥3,000, High school students or under: ¥1,000, etc.</p>
<p>9日～11日 シアターイースト</p> <p>TACT / FESTIVAL 「夢見るための50の方法」[ひつじ] ◎ 演出:ダヴィッド・ダンゾン 出演:劇団コープス 料金:500円 ([ひつじ]はローワー広場にて無料)</p>	<p>21日～25日 シアターイースト</p> <p>芸劇dance KENTARO!! / 東京ELECTROCK STAIRS 二本立新作 演出:振付:KENTARO!! 出演:KENTARO!!、横山彰乃、高橋萌登 ほか 料金:全席自由 一般前売3,200円、学生前売2,700円 ほか</p>	<p>21-25 Theatre East</p> <p>Geikei dance KENTARO!! & TOKYO ELECTROCK STAIRS Direction/Choreography: KENTARO!! Performer:KENTARO!!、Ayano Yokoyama, Moto Takahashi, etc. Admission:adult:¥3,200, university student :¥2,700, etc.</p>
<p>22日 コンサートホール</p> <p>東京芸術劇場ランチタイム・バイオルガンコンサート Vol.105 開演:12:15(11:15開場) 出演:オクタヴィアン・ソニエ(オルガン) 料金:全席自由500円</p>	<p>22 Concert Hall</p> <p>Tokyo Metropolitan Theatre Lunchtime Organ Concert Vol.105 Start:12:15 Performer:Octavian Saunier(Organ) Admission:¥500</p>	

<h1>6</h1> <h2>東京芸術劇場</h2> <p>Tokyo Metropolitan Theatre 休館日：23-24日 Closed: 23 Mon-24 Tue</p> <p>★主な主催公演</p>	<p>8日～22日 シアターイースト</p> <p>マームとジブシー「AAA かえりの合図、まったた食卓、そこ、きつとー」 作・演出:藤田貴大 出演:荻原綾、尾野島慎太郎、成田亜佑美 ほか 料金:前売3,000円、当日3,500円 ほか</p>	<p>20日 コンサートホール</p> <p>ザ・フィルハーモニクス 開演:19:00 出演:ザ・フィルハーモニクス(ウィーン・フィル、ベルリン・フィルのメンバーによる室内アンサンブル) 曲目:ブラームス/ハンガリー舞曲第5番 ほか 料金:全席指定6,500円</p>
	<p>12日 コンサートホール</p> <p>東京芸術劇場ナイトタイム・バイオルガンコンサート Vol.5 開演:19:30 出演:早島万紀子(オルガン) 料金:全席指定1,000円</p>	<p>21日 コンサートホール</p> <p>クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会 開演:15:00 出演:有田正広(指揮)、仲道郁代(フォルテピアノ)、クラシカル・プレイヤーズ東京(オリジナル楽器使用) 曲目:メンデルスゾーン/「夏の夜の夢」序曲、モーツァルト/ピアノ協奏曲第23番、シューベルト/交響曲第7番「未完成」 料金:S席:4,000円、A席:3,000円、B席:2,000円</p>
<p>17日 コンサートホール</p> <p>東京芸術劇場ティータム・コンサート Vol.6 開演:14:00 出演:後藤正孝(ピアノ) 料金:出場無料(定員150名程度)</p>	<p>27日～29日 シアターイースト</p> <p>芸劇dance モモンガ・コンプレックス「珍しいキノコ舞踊団「Together さ。」 振付・演出:白神ももこ、伊藤千枝 出演:モモンガ・コンプレックス、珍しいキノコ舞踊団 料金:全席自由3,500円 ほか</p>	<p>12 Concert Hall</p> <p>Tokyo Metropolitan Theatre Nighttime Organ Concert Vol.5 Start:19:30 Performer:Makiko Hayashima(Organ) Admission: ¥1,000</p>
<p>18日 コンサートホール</p> <p>アルド・チッコリーニ ピアノリサイタル 開演:19:00 出演:アルド・チッコリーニ(ピアノ)</p>	<p>17 Concert Hall Entrance</p> <p>Tokyo Metropolitan Theatre Teatime Concert Vol.6 Start:14:00 Performer:Masataka Goto(Piano) Admission: Free</p>	<p>17 Concert Hall</p> <p>Aldo Ciccolini Piano Recital Start:19:00 Performer:Aldo Ciccolini(Piano) Admission: S seats:¥8,500, A seats:¥7,000, B seats: ¥5,500</p>
	<p>20 Concert Hall</p> <p>The Philharmonics Start:19:00 Performer:The Philharmonics (a chamber ensemble of members from Wiener Philharmoniker and Berliner Philharmoniker) Admission:¥6,500</p>	<p>20 Concert Hall</p> <p>Classical Players Tokyo Concert Start:15:00 Performer:Masahiro Arita (Conductor), Ikuyo Nakamichi (Fortepiano), Classical Players Tokyo Admission:S seats: ¥4,000, A seats: ¥3,000, B seats: ¥2,000</p>
	<p>21 Concert Hall</p> <p>Classical Players Tokyo Concert Start:15:00 Performer:Masahiro Arita (Conductor), Ikuyo Nakamichi</p>	<p>27-29 Theatre East</p> <p>Geikei dance momonga complex ⇔ Strange Kinoko Dance Company Choreography/Direction: Momoko Shiraga, Chie Ito Performer:momonga complex, Strange Kinoko Dance Company Admission: ¥3,500, etc.</p>

◎印のついたプログラムは、東京文化発信プロジェクト事業です。
○A program of the Tokyo Culture Creation Project.

Maps & Information

●公益財団法人東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
http://www.rekibun.or.jp

●トーキョー・アート・ナビゲーション

Tokyo Art Navigation
http://tokyoartnavi.jp

●観覧料について(対象:東京都江戸東京博物館の常設展・江戸東京たてもの園・東京都現代美術館の常設展、東京都写真美術館の収蔵展)

- ・都内在住・在学の中学生、小学生以下は無料
- ・65歳以上の方は、一般料金の半額、毎月第3水曜日は無料
- ・毎月第3土曜日・日曜日(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する方は半額
- ・観覧料の記載がない場合は、展覧会・催物によって金額が異なります
- Admission Fee (Permanent Exhibition of Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum, Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum, Permanent Exhibition of Museum of Contemporary Art Tokyo, and Collection Exhibition of Tokyo Metropolitan Museum of Photography)
 - ・ Admission Free : Elementary and junior high school students reside or go to school in Tokyo.
 - ・ Half Price : Seniors (65 and over)
 - ・ Seniors (65 and over) are admitted for free on the third Wed of every month.
 - ・ Adults accompanying children under 18 years old are admitted for half price on the third weekend of every month.
 - ・ Fees may vary depending on the exhibitions and events. So, please confirm if fees are not indicated.

●休館日は各館異なります。詳細はカレンダーページをご確認ください

Closed day may vary by facility. Please check the calendar pages for further details.

主な路線図 Route map

